

6月議会 根本みはる市議の 一般質問(1)の①

新型コロナウイルス感染の 封じ込めへの転換を

6月15日、日本共産党の根本みはる市議は、6月市議会の一般質問に立ちました。

日本の新型コロナウイルス感染対策の遅れは、PCR検査については、いまだに人口比で世界144位、ワクチン接種も接種回数で世界128位にとどまっています。

7月末を目途に高齢者へのワクチン接種を終えたいと、菅首相は実態とかげ離れた突然の政府目標を掲げたことが、自治体の混乱を招く結果となりました。

予約はできるのかと不安の声が

80代の方の中には「かかりつけの病院で予約を、と言われるが、受付してもらえない」「もうあきらめている」という方もいます。以前よりも接種の予約枠は広がっていますが、現状では予約サイトに「集団接種予約枠が定数に達しました。〇月〇日に予約を

開始します。」と案内がされ、翌日には「集団接種予約枠が定数に達しました。」となっています。「本当に予約はできるのだろうか。ワクチンは届くのか」と、市民の不安の声があります。

コロナワクチンの供給予定

- 6月13日に126箱、140、595回分の納入
- 6月27日に、55箱、64、350回分の予定

いつまでに高齢者分のワクチンが来るのか、供給予定を市民に知らせるべきです。根本市議は「ワクチン供給予定と今後の接種スケジュール」を質問。

「ワクチンは、国から県を通じて、6月13日時点で、本市には126箱、140、595回分が納入されている。また、6月27日に、55箱、64、350回分が納入される予定。」「今後のワクチン接種については、6月28日の週に60歳から64歳までの方、約2万2千人と基礎疾患のある方を対象に、接種券を順次発送。その後の60歳未満の方の接種券につい

ては、60歳以上の方の接種状況や企業による職域接種の状況等を踏まえ、7月上旬を目途に発送時期を判断し、年齢区分等による段階的な発送を考慮する。」と答弁がありました。

HPを見られない市民に 防災ラジオの活用を

根本市議は個別接種市民への周知を求めました。

「豊田加茂医師会や市内の約120の医療機関のご協力で体制を整え、接種は開始がされている。かかりつけ医が無い場合は、国の提供する『コロナワクチンナビ』で接種を行う医療機関が確認できることを伝えたい。」と答弁。

根本市議は市のHPが見られない方のために「防災ラジオの活用」を提案しました。

無症状者への幅広い 検査でコロナ封じ込めを

濃厚接触者以外の方が、症状がなく医者判断がなければ検査はしないとされています。東京都世田谷区が始めた社会的検査が広島県など県単位で広がっています。この検査により、無症状の感染者が早い段階で把握でき、医療や宿泊療養施設への負担、

保健所の業務への負担を軽減することもわかってきました。ワクチン接種と同時に、無症状者に焦点を当てた幅広いPCR検査が必要です。

高齢者・障がい者への タクシー券の追加を

「接種会場まで行く手段が無い。」と車に乗って行くことができない方が、大変困っています。根本市議は、ワクチン接種のための「タクシー券」の追加を提案しました。

高齢者施設の職員への スクリーニング検査を

厚生省が高齢者施設等の職員への定期的なPCR検査を要請し、愛知県および豊田市はスクリーニング検査回数を1人最大6回(週1回程度)まで拡充しました。答弁によると、検査を受けたのは136施設中60施設、対象者4000人のうち2741人。市は施設に勧奨を行っているとのことですが、根本市議は、施設の職員が必要な検査を受けられるように、支援を求めました。

紙面の関係で、残りの質問と、大項目2の「生理の貧困」は次号になります。

